



自然と人間社会が共生する只見町

No.175

令和6年4月26日発行

2024 APRIL

議会だより



満了おめでとう！先生ありがとう！

(表紙の説明は11ページへ)

未来に託せる持続的なまちづくり

令和6年度予算 …………… 2~3

10名が町政を問う！一般質問 … 15~25

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ➡



を念頭に、総額81億4690万円可決

(千円未満切り捨て)

*自然と共生するまちづくり (雪・居住・環境)

●ユネスコエコパーク推進費

1655万円

登録10年を迎え記念事業・次の10年に向けた取り組み等

●除雪機格納庫整備工事

7000万円

蒲生宮原地内に除雪機械3台収納できるスノーステーション建設

●集会施設修繕工事

寄岩集会施設 (屋根・トイレ等修繕)

1420万円

●橋梁長寿命化修繕工事

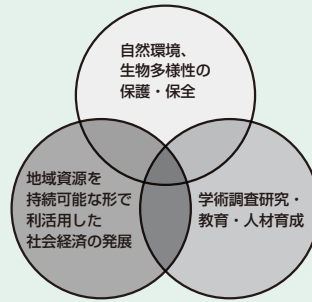
荒島・布沢・塩ノ岐橋梁、補修・長寿命化修繕

5937万円

●地域づくり推進交付金

主に集会施設のエアコン設置等の交付金

1440万円



ユネスコエコパーク3つの目標

令和6年度只見町一般会計、特別会計の歳入・歳出について予算特別委員会を設置し3月11日から3日間にわたり慎重審議を行い自主財源の確保や、指定管理料や委託料の効果・検証についての意見を付して可決しました。振興計画に基づいた5本の柱の主なものを抜粋してお知らせします。

*文化に根づく人づくり (スポーツ・文化・教育)

●ただみ・モノとくらしのミュージアム費

4781万円

文化財維持管理運営費、主なものとして収蔵空調設備工事 (1960万円)

●奥会津学習センター費

8965万円

山村留学生寮維持管理料等主なものとして暖房設備改修工事 (4000万円)

●スクールバス運転業務委託料

4492万円

小中高、児童、生徒送迎等、今年度は南郷地区まで延伸



●学校施設維持補修工事

1585万円

只見中学校駐車場の舗装改修 1500㎡工事

令和6年度当初予算

「未来に託せる持続的なまちづくり」

(千円未満切り捨て)

*住民が主役のまちづくり (住民交流・移住定住・公共施設)

●只見駅前複合施設設計委託料

6270万円

只見線広場に道の駅的複合施設設計予算



●自然首都・只見号運行事業委託料

1737万円

町内観光周遊バス (4月~11月運行予定)

●移住交流費

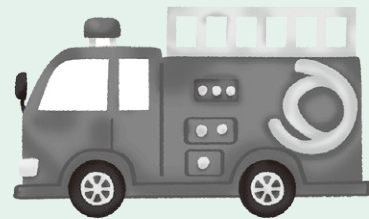
2450万円

出会いの場づくり事業・移住定住促進プロモーション委託料
Uターン就業促進補助金・移住支援・住宅支援空き家改修事業補助金等

*住みやすいまちづくり (健康・安全・防災)

●軽消防ポンプ車2台 **1489万円**

●広域市町村圏組合消防費負担金 **3億2583万円**



火の用心

*働きがいのあるまちづくり (農林業・商工業・観光・経済)

●情報通信環境整備計画策定 業務委託料 **2063万円**

梁取地区 (遠隔操作型自動給水栓等)・
只見地区 (遠隔操作型ゲート整備)

●薪ステーション運営事業補助金 **700万円**

運営費及び施設管理費等

●農産物集出荷施設新築工事 実施設計委託料 **563万円**

只見字雨堤地区に米乾燥調製施設建設



予算特別委員会 主な質疑応答

歳入

固定資産税減少

問

毎年大規模償却資産は減少している。減価償却はどのように算定されているのか、下限はあるか。

答

総務大臣の配分で額が確定されている。



森林環境贈与税増額は

問

森林環境譲与税の配分が変わる方向になっているが、予算額が増えているか？

答

配分の見直しの詳細がまだ示されていないが、今後具体的な数値が示されれば補正で対応したい。

寄付金・ふるさと納税増を

問

ふるさと納税等寄付金の目標を定め、増やす努力が見えない。

答

ふるさと納税のPR含め収納増の努力をしていく。

基金繰入金増

問

基金の繰り入れが大きい。今年度どのような内容で基金の取り崩しをしているのか。

答

基金を活用し最終的に財源調整していく中で、財源不足する部分について財政調整基金で対応し、今後地方交付税を算定していく中で補正対応する。



歳出

振興計画策定課題は

問

振興計画の策定にあたり重点事業、課題は何か。

答

現在の計画を継承するものもあるが、具体的な事業等はこちらからの2年間の中で検討していく。

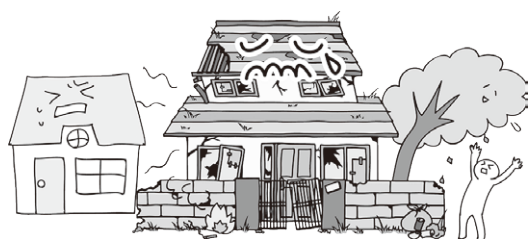
移住・定住・空き家対策は

問

緊急安全措置置業務委託料、危険な特定空き家、今後どのように対応していくのか。

答

危険度が高い特定空き家は2軒ある。それに準ずる空き家は40軒ほどある。解体補助などの事業周知を進めていく。



問

振興計画実施計画で6年度にお試し住宅整備事業が計画されているが、具体的な予算は。

答

空き家等を借り上げ、そういった事業を展開していく。

問

人口減少対策にかかる事業の予算が減となっている。目標を持ち、達成する努力が必要でないか。

答

制度、事業の周知を図り、目標をもって努めていきたい。

公民館の音響設備の改修を

問

三地区公民館の音響設備、不具合状況が改善されていない。早急な対応を。

答

様々ご意見、機械の不具合等の報告。状況把握、専門家の調査を行い修繕対応していきたい。

介護タクシー利用助成補助金利用

問

介護タクシー利用補助金、町外移動などではどうなるのか。

答

自己負担が高額となっているので、6年度から自己負担を3分の1、上限を25,000円までとしていきたい。

交流促進センター 委託料増の要因は

問 5992万円と
前年比1400
万ほど増えている、消
耗品、修繕費が別に予
算が上がっているが。

答 1件20万円以内
の修繕等は指定
管理者が行うこととな
っているが、本体の交
換が必要な修繕等の積
み上げでの管理項目と
して増となっている。

指定管理料が 突出していないか

問 振興公社、季の
郷湯ら里の指定
管理料が突出して見直
しがされているが、そ
の他の指定管理施設の
見直しはないのか。

答 その他の施設も
見直しをしてい
る。積算の結果として
金額が全体的に上がっ
ている。

問 交流促進センタ
ー指定管理料の
公益分、収益分の割合
は。内容を明確にすべ
き。

答 今回積み上げし
た予算の、町が
管理する分が、公益分
である。

山開き、登山者への 安全配慮を

問 山開きのサービ
スが低下してい
るのではないか。登山
者への安全配慮の対応
等の考えは。

答 人手不足の状況
もあり、今でき
る範囲で行っている。



除雪オペレーター 育成支援事業の 周知を

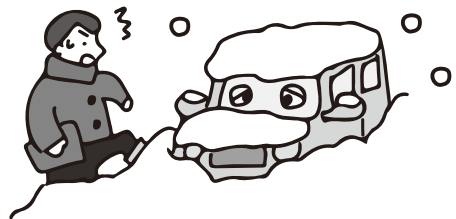
問 この事業の対象
範囲は、新たに
若い人を育成し参画し
たい事業者もいる。制
度の周知徹底を。

答 もう少し柔軟な
対応ができない
かという話もいただい
ている。可能な限り要
綱の見直しを行い、周
知徹底を図っていく。

浅雪時の 除雪対策の整備を

問 浅雪時等の場合
除雪の体制を早
急に検討すべき。

答 浅雪時の待機保
障を含め見直しを
して、除雪オペレータ
ーが安心して除雪作業
に従事できる様、整備
をしていく。



ただみ・ ものどくらしの ミュージアム活用

問 重要な文化財、
民俗資料活用を
すべきでないか。もつ
と情報発信を。

答 大勢の来館者が
あり。町民の方、
専門家の方を交えてど
う運営するか、まず町
民の方に認識してい
ただき、広く応援してい
ただく方を巻き込んで
活用していきたい。



総括質疑

事業の 効果的な検証を

問 事業検証を行い
予算の効果的な
執行に努めるべきでな
いか。

答 事業効果をしつ
かり確保できる
よう意識し、努めてい
きたい。

予算特別委員会意見

委員長 菅家 忠 副委員長 酒井 正吉郎

※一般会計

- (1) 歳入では地方交付税の占める割合が歳入全体の45%となり高い水準となっている。令和5年度の46.5%より減少しているが、企業版ふるさと納税等により自主財源の確保に一層努められたい。
- (2) 歳出では指定管理料・委託料等の積算根拠が乏しいものが散見された。U・Iターン促進事業等の昨年度に成果が乏しかった事業も効果検証が十分になされていないまま予算提案されていた。*PDCAサイクルが機能しておらず、全般的に事業効果が乏しい状況での予算提案だと判断した。第七次只見町振興計画に記載されている基本理念に立ち返り、対処療法だけの予算執行にならないよう努められたい。

※特別会計

国民健康保険施設特別会計

- (1) 医療スタッフの確保に注力し、町民の不安解消に努められたい。

※事業会計

簡易水道事業会計

- (1) 収入の繰入金を含めた他会計補助金の割合が高い。情勢を注視し将来を見通した適正な運営に努められたい。

農業集落排水事業会計

- (1) 収入の繰入金を含めた他会計補助金の割合が高い。情勢を注視し将来を見通した適正な運営に努められたい。

予算特別委員会に付託された9議案すべて原案の通り採択された。

議案第27号 只見町後期高齢者医療特別会計 賛成10、反対1（山岸委員）
反対意見・制度そのものに反対。

※PDCAサイクルとは

Plan（計画）、Do（実行）、Check（確認）、Action（改善）

計画から改善、そしてまた計画から改善、というサイクルを何度も繰り返すことで、継続的に業務改善を行なうこと。

指定管理者決定

3月
会議

公の施設指定管理者議決

いずれも指定管理期間は令和6年4月1日より5年間

	施設名称	指定管理者
議案第33号	只見町青少年旅行村・いこいの森	(株)会津ただみ振興公社*
議案第34号	只見スキー場	(株)会津ただみ振興公社*
議案第35号	只見町河井継之助記念館	(株)会津ただみ振興公社*
議案第36号	交流促進センター・只見町深沢温泉	(株)季の郷湯ら里
議案第37号	山村のくらし体験施設	森林の里応援団

※令和6年4月1日より(株)只見町観光公社に社名変更

人事同意案件

教 育 長	渡部 公三 氏	任期4月1日より3年間
教育委員会委員	渡部 欣也 氏	任期4月1日より4年間
人権擁護委員	渡部 仁一 氏	任期7月1日より3年間

町民の声を町政に反映!

11月26日3地区公民館において開催した議会報告会で出された多くの意見・提案を、当局の考え方、議会としての意見、今後検討して行かなければならない事について抜粋で記載させていただきます、その後進展があったものは随時、議会だよりでご報告していきたいと思っております。

*役場新庁舎建設

問 役場庁舎について、検討段階で止まっているのでは。

庁舎が分かれていて町民が不便を感じている。

答 優先課題の中で、駅前賑わいのゾーニングを踏まえ検討。できる範囲で改善したい。



*子育て環境

問 家族で楽しめる子ども向けの全天候型屋内施設整備を。

答 駅前複合施設整備のスペースも一つの案として検討。

*学校の環境整備

問 学校と裏山の距離が近いため熊の出没で子供たちの登下校が心配。

答 各小中学校で熊鈴を配布。通学路の変更や保護者送迎依頼などの対策を行い、裏山の安全対策として緩衝地帯の保全の予算計上。

*小学校統合

問 小学校統合について検討はされているか。

答 令和6年度に「只見町立小学校」で検討して行きたい。



*安心して住めるまちづくり

問 高齢者の単身世帯は冬季間のゴミ出しなど坂の多い集落では危険。高齢者への長期間でのサービスが必要ではないのか。

答 介護予防訪問介護B「地域支え合い訪問型サービス」の住民主体の団体による高齢者のゴミ出しや買い物支援等といった日常生活に対する援助を行う。

*ふるさと納税

問 ふるさと納税を財源確保のため推進すべき。新たな商品開発が必要。

答 様々な方策で推進したい。地元企業にお願するなどに努力したい。

*少子高齢化

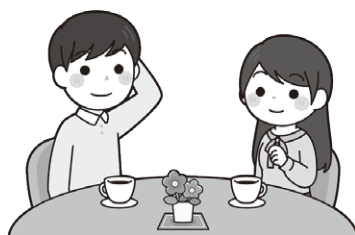
問 公民館事業で出合いの場づくり復活をさせてはどうか。

答 星空カフェなどを通じ、若い方の集まる機会を作っていききたい。

*行政執行

問 町政の見える化が必要ではないか。

答 内閣府の指針にのっとりHP等で広報している。



多くの意見を頂きました。

*第三セクター統合

問 新会社設立し第三セクター2社の統合について状況が見えてこないが。

答 今すぐ統合はせずに、それぞれの会社で業務改善に努めていきたい、当局側の答えに対し、議会としてもそれぞれの会社の問題点をしっかりと把握し経営改善が統合より先に行う事との意見がだされた。

*道の駅建設

問 道の駅建設計画は無くなったのか。

答 駅前には道の駅的複合型施設を建設して受け入れ態勢を整えていきたい、令和6年度には実施計画策定、7年度建設。令和8年度には動き出せるようにしたい。



*観光施設・トイレ整備

問 観光施設営業再開・国道沿いのトイレ不足により困っている事について。

答 田子倉レークビユーについては、今年度は土・日曜・祭日はオープンをさせ、只見町の観光案内を含め振興公社に営業していただく。只見から南郷方面のトイレについては令和6年中に場所を選定し建設を進めていきたい。



*冬季間の除雪体制

問 冬季孤立住宅解消事業の見直しをして頂きたい。

答 町は従来の補助制度を見直し、補助金の増額をされたが、個人ができる範囲で無いものについて、今後は議会としても検討していくべきと考えます。

*議員定数削減

問 議員定数の検討はされているか。

答 令和元年11月の全員協議会において定数削減について現状維持との意見だったが、その後関係機関の指導の下、検討してきた。

関係機関の意見

従来・人口規模に応じて議員定数の上限数が定められていた。現在は地方分権改革以降、国から町村へ事務の大幅委譲・首長の専決権が縮小され、町村の自立に向けた法整備が進められ、町村は自己決定・自己責任という自由と責任の領域が拡大され、議会の責任と重要性が大幅に増した。議員定数は次の要件に配慮して自治体の決定に委ねられてきて

いる。

*議員定数は行政改革とは視点を変えて検討すべきこと。

*人口のみならず・面積・職域・年齢層・性別・職業など、配慮されるべきこと。

*議会機能維持するため町村規模の大小に関わらず最低限の人数が必要。

*委員会の人数は最低6〜7人（総務常任委員会・経済常任委員会×6人112人）

*行政改革と議会改革の違い

・行政改革 町の仕事を少ない経費で効率よく目的を達成する手段・方法を改革・改善すること。

・議会改革 民意を町政に反映するとともに公平、公正な行政執行を監視し、最高意思決定機関として機能の充実を図る。



浅雪対策

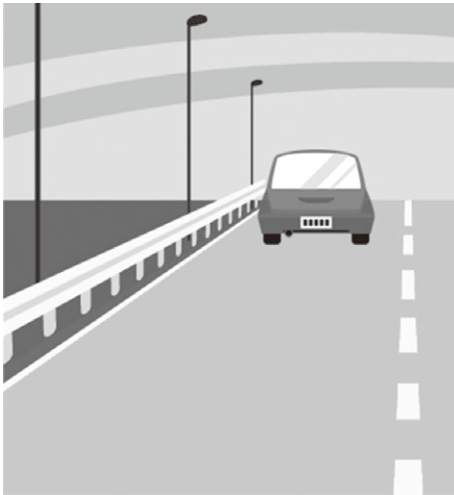
2月
会議

(千円未満切り捨て)

* 道路新設改良工事

2724万円

5路線の防護柵工事(黒谷・布沢・
小林・只見田の口・三石道路)



* 道路補修事業

2483万円

町道3路線の舗装補修(深沢集落
内・大倉集落内・国道289号か
ら朝日公民館路線)



早く直して

2月19日条例改正2件、一般会計補正予算、除雪
事業者への浅雪対策として令和6年度事業予算の債
務負担行為補正を議決

* 物価高騰対応重点支援給付金

2000万円

住民税非課税世帯1世帯当たり10万円
約200世帯想定

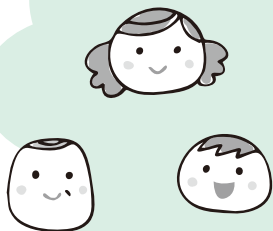


* 克雪対策事業

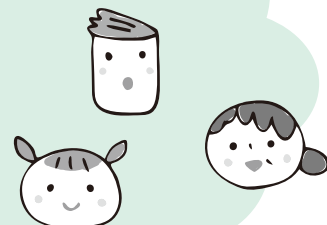
1000万円

浅雪で事業開始が早くできる事を
考え4月から補助金の募集を開始
する。





町民の声



町のこと、議会のことについて想いを書いてもらう新企画コーナー

『一緒にまちづくり』を

30代 男性

私は数年前に只見町にUターンしてきました。私にとって只見町は高校を卒業するまで過ごし、いまは地域の方々や家族に支えられながら子育てをしている大切な場所です。

いま只見町は人口減少や只見線を契機にした観光対策等が喫緊の課題となっており、それら全ての課題は、町や議会の力だけでは解決困難なものだと思います。只見町のまちづくりの重要な部分を役場や議会が担っていることは確かですが、人口減少の原因や只見駅で降りた人たちが食べる場所がないのは役場や議会のせいなのか、私はそうは思いません。まちづくりは役場や議会、そして町に住む町民一人一人が一緒になって取り組まなければならないものだと思います。町民の意見を町政に反映するのは当たり前ですが、「聴く」ことを超えて「一緒にまちづくり」をしようか。この町の将来をみんなで考える場や、町民がチャレンジできる機会を作っていたきたいと思っています。

素晴らしい只見の自然と文化

60代 男性

只見町に移住し3年目を迎えます。只見の魅力は、自然・歴史・文化遺産が多く残されていることだと思います。また、文芸に秀でた方（山内秋生、梁取三義）もおられ、大倉のミュージアムを訪れ、日々作品に直に触れさせていただいています。私は、自然・文化的には日本の「桃源郷」だと感じています。今、地球温暖化、少子化等様々な課題があります。只見町でも過疎化が進んでいます。私が思うには、過疎、空き家、観光を一つに、特に観光対策は、自然遺産（山川、雪・文化遺産（歴史、民俗史料等）を活用し、多くの人に体験、触れもらう。また自然・文化に造詣のある人（国内から世界から）に来てもらい、宿泊場所として空き家などを活用し、地域の方々やUターン、Uターンの方々が加わって、今あるものを活かすことが只見町の活性化に繋がっていくことだと思います。桃源郷、只見町の近未来のプランをつくり、只見町の青少年に夢を、中高年には楽しみと喜びを味わってもらうようになってほしいと願っています。

表紙の写真に想う



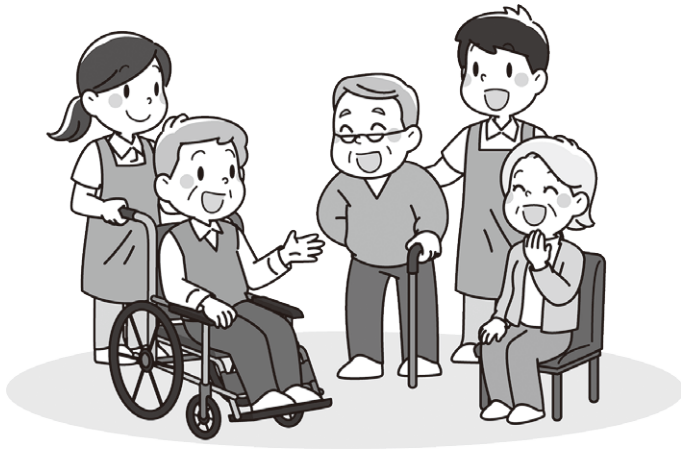
先生から花束を もらう満了児

令和6年3月25日に只見町立明和保育所の満了式が行われ、13名の子供たちが明和保育所を巣立ちました。小さかった子供たちがたくましく育った姿を見て、お父さん、お母さんも胸が熱くなったのではないのでしょうか。お世話になった先生から花束をもらい、大きくなったなら「お父さんの仕事のお手伝い」「消防士」「会社員」等、堂々と発表した子供たちの夢を応援しましょう。

● 医師・看護師確保で 診療体制改善を求める

- 1 朝日診療所の医療体制は、医師・看護師不足状況下で、夜間の救急患者、受け入れ制限や入院患者の制限等、町民への医療提供が低下したまま推移している。これまでの経過と4月からの診療体制改善に向けた医師・看護師確保を重点的に調査してきた。
- 2 「只見デイサービスセンターあさひヶ丘」の休止について、議会へ提案協議なしに町当局が執行したことは、議会制民主主義の根幹をないがしろにするものである。利用休止の要因は介
- 3 認定こども園設立に関しては、保育所の施設、保育士の人数、小学校の在り方等も併せて調査を継続する。

護職員不足によるとの説明だが、利用者・家族には介護サービスの低下に繋がるものである。



利用者サービス低下にならない様！

● 先を見据えた 観光施設整備動き出す

- 新年度より動き出す只見線広場複合施設計事業について、内容等が具体的に示されていく中で丁寧な説明を求め、観光客はもちろ
- んであるが町民の利便性も含め、目標である国道289号八十里越の全線開通を見据えた観光施設整備を求める。



● 「町民の声」 大募集

町に思うこと、議会に聞きたいこと、なんでも結構なので投稿者を募集しております。詳しくは議会事務局又は広報委員にご連絡いただきたいと思います。

一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様から様々な意見を聴き議会活動、町政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

***テーマ**
テーマはまちづくりについてのどのような事でも構いません。申し込みの際にお知らせください。

***開催方法**
日時・場所については皆さんの都合に合わせて相談させていただきます。

***申し込み方法**
議会事務局へご連絡ください。
(TEL 82-5300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

南会津地方広域市町村圏組合

消防署只見出張所 庁舎間もなく完成!!

只見出張所整備工事は、令和6年6月末に指令システム移設完了後、新庁舎での業務開始。また、只見出張所の高規格救急自動車が今年度更新予定。



施設完成間近

南会津地方環境衛生組合議会

●クリーンセンター

焼却炉運転停止について

(1) 西部クリーンセンター排出ガス水銀濃度排出基準超過に伴う焼却炉運転停止についての説明では、水銀を含むごみの混入が考えられたが、その後測定基準値以下となり安全が確認されているとの報告があった。

(2) 令和6年度南会津地方環境衛生組合一般会計予算

歳入・歳出予算10億7928万円

只見町負担金は1億4107万円（昨年度より530万円の減）が可決された。



しっかりと分別を!!

議会運営委員会

1月10日

議会運営委員会の機能強化及び正副議長選出過程に一定のルールを定め、透明化を図るため、手順・方法を調査した。

2月2日

町民の信託に応え開かれた議会を目指して、議会基本条例の一部を改正する条例(案)及び委員会条例の一部を改正する条例(案)の取りまとめを行った。

2月19日

議会改革に関する条例改正(案)について、全員協議会で協議することとした。
(※・同日・全員協議会で協議し、3月会議に提案することの了承を得る。)

全国町村議会議長会表彰

町村議会議員として15年以上在職し功労があった方々

*大塚純一郎

*佐藤 孝義

*酒井 右一

*中野 大徳



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.39



アカショウちゃん

「初議会って?」 なんですか。



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

今回は、「初議会（はつぎかい）」について、議長さんに聞いてみました。



ブナりん

4年ごとに議会議員選挙が行われると、その後「初議会」ということばを聞くけど、どういう議会のことなの？

議長

只見町の議会議員は、定数が12名で4月20日から4年後の4月19日までが任期となっていて、今年の3月の議会議員選挙で新しく議員が選ばれ、改選後の議会が活動するため必要なことを決める議会が「初議会」っていうんだよ。

イワっぺ

議長さんも新しくなるなら、どうやって議会を進めるの？



議長

改選後の初めての議会では議長が決まっていなくて、議長が決まるまで選ばれた議員の中で年長の議員が臨時に議長を務めるんだよ。



アカショウちゃん

「初議会」では何を決めるの？

議長

「初議会」ではまず議長、副議長を選挙で決め、常任委員会・議会運営委員会の委員と正副委員長などを決めたり、議会選出の監査委員や、そのほか、南会津郡の広域市町村圏組合と環境衛生組合の議員もここで決めるんだよ。

ブナりん

今後の議会運営にとって重要なのが初議会なんだね。

議長

そうだね、これからの議会活動をするための体制を決める場が、「初議会」なんだよ。

イワっぺ

議会議員のみなさん、これから4年間、住みやすい町づくりのためよろしくお願ひします！



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！
*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- 酒井正吉郎16
役場の建設はいつになるのか
- 三瓶 良一17
只見駅舎用地の進捗状況は
- 矢沢 明伸18
人材不足、担い手不足が深刻な状況をどうする
- 小沼 信孝19
今後の観光政策の進め方は
- 鈴木 好行20
衰退する町内経済の現状認識と、解決策は
- 菅家 忠21
行財政改革に企業経営思考を
- 山岸 国夫22
マイナ保険証への対応を求める
- 酒井 右一23
人口減少の激しい現状の認識は
- 中野 大徳24
只見駅前広場について
- 齋藤 邦夫25
関係人口など受入れ対策に怠りは無いか

町政を問う

町を想い10名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

役場の建設はいつになるのか

答 建設検討の準備を進める



さか い しょうきち ろう
酒井正吉郎 議員

問

現状の役場はすべての来庁者に対し、不都合で不親切な状況である。そして、職員の縦と横のつながりも希薄になり、役場機能の低下、住民サービスの低下に繋がっている。現状が長引けば住民の方々の町に対する誇りは薄れ職員の志気も低下する一方だ。中身の充実した住民サービスのワンストップ化が可能で、職員間の開かれたつながりで機能の効率化が出来る庁舎が重要で、身の丈に

合った庁舎の再建をすべきだと思う。

答

当初予算には提案していないが、今後は分散している役場庁舎機能の集約を検討していかなければならないと認識は変わっておらず、まず内部検討の準備を進め、なるべく早く明示出来るよう努力する。



季の郷湯ら里 経営改善策は

答 具体的な案を示したい

問

平成8年にオープンした「季の郷・湯ら里」は只見の迎賓館として、支配人以下素人上がりのスタッフの頑張りで多くの町民の皆様に賛同を得られ、100回を超える結婚式や宴会等の利用で活況を呈した。地元のみ宿・旅館組合にも大きな刺激を与え、湯ら里をしのぐ評価を町内外のお客様から獲得されている。専門家による検討結果より、借入金が増大や資本欠損の状態と指摘されているが、今後の解決策は。

答

ここ数年コロナ禍に見舞われ、団体旅行から個人客の旅行に大きく様変わりし、売上の減少に悩まされているが、社内全体会議の徹底、社員研修、リピーターの確保、社長である町長から現場スタッフ全員に至るまでのガバナンスに注力し、次期株主総会へ考え方、具体的な案を示していけるよう努力する。

只見駅舎用地の 進捗状況は

答 要望した面積の取得は困難

問

町がJRに求めた用地面積はいくらか。随分長い年月を要しているが進捗状況は。再開通時の熱狂的なものが薄れてきた。急ぐべきだ。

貨物用ホーム跡は新規用地確保が出来ないので、只見線広場に設計及び名称変更とのこ

とだが、所管委員会ではたたき台との断りの話はあったが、こんな話は聞いていない。湯ら里建設時は何度となく当局と議会側で相互検討がなされた。今回も総合的な検討の上で提案されるべきだ。

答

町の要望した面積の取得は出来ないことがはっきりした。今後は只見線広場に道の駅の基本的構想、計画が無駄投資と言われないように、考え方をしっかり受け止め設計に入り次の段階に進める

問

「役場庁舎を元の位置に建設する」と町長は辻々に訴えられた。町民は4年間の任期中には具体案を示されるものと思っ

答

ている。町長の任期は残り10ヶ月程度。その間に進め方、設計を示されたい。抽象的な話では理解されない。内部での検討は努力したい。

少子化対策と 婚活は

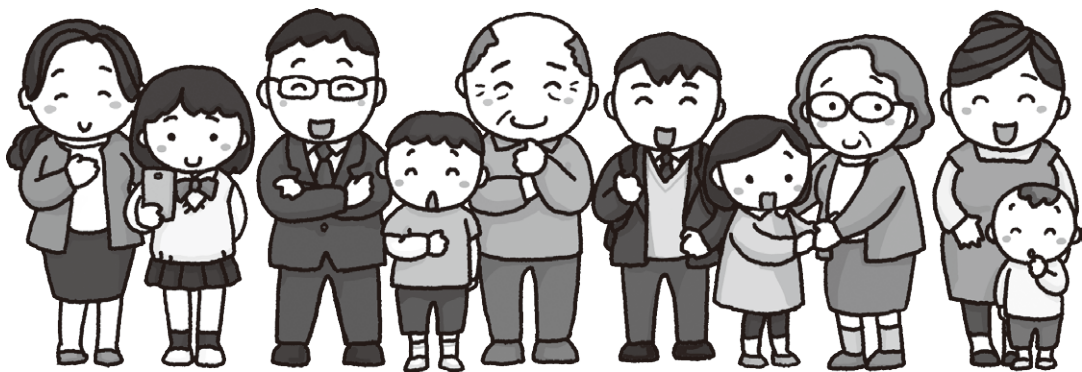
答 先進事例等を研究したい

問

町の人口は危機的状態だ。限界線を越えると更に減少し、回復は更に困難となる。昔のように縁を取り持つてくれる役割を担う風習を再検討するべきではないか。

答

現在はスマホ等のマッチングサイトによる出会い触れ合いの傾向がある。家事、育児の相互協力が尊重され考え方が変化している。先進事例等を研究したい。



さん べ りょう いち
三瓶良一 議員

人材不足、担い手不足が深刻な状況をどうする



あきの ざわ や 明伸 議員

答 総合的な施策を展開し、魅力的な町づくりに努めたい

問 おしらせばんに毎週多くの求人情報が掲載され、雇用が進んでいない。今の状況を町長はどう認識しているのか。

答 雇用、求人の厳しい状況は認識している。担い手不足の事業者が多く、その深刻さは感じている。昨年から商工労働係を設け、事業所等への訪問を行い、さらに以前にも増して商工会との連携を強化し取り組んでいきたい。

問 人口問題研究所が発表した2050年までの人口推計では、地域を担う生産年齢人口が半減する予測がされている。この推計人口を見て町長はどう考えるか。

答 経済的支援も必要であるが、やはり一番は地域が魅力的、若い方から支持される、産業の基盤、環境整備、町・地域自体が選ばれるような、総合的な振興策が必要と考えている。

問 令和3年から雇用促進条例が発足しその効果、今後の取り組みはどう考えているのか。小規模事業者の底上げもできるよう検討してほしい。

答 事業主の方々に採用にあたっては積極的に活用いただいております。人材確保に一定の効果があったと

認識している。今後は定期的な企業訪問を通じてニーズ把握に努め、制度の見直し等を行い引き続き取り組んでいきたい。

問 特定地域づくり事業協同組合が設立されているが、町はどのように関わっているのか。年間の就労対策として、町もこれを核として積極的に活用すべきでないか。

答 画期的な制度と認識している。一体となって人材確保の手段として機能するよう、産業基盤づくりを支援し、過疎地の人材不足解消に繋がるよう合わせて取り組まなければならぬと考えている。

問 町内事業所では50人ほどの外国人労働者の方が雇用されている。町としても現状を認識し対応する必要があるのでは。

答 就労には法的な制約もある。伴走型支援の在り方をどうしていくか。事業者の方と相談し取り組んでいきたい。



今後の観光政策の 進め方は

答 組織作りを速やかに進めたい

問 12月会議の際、観光の組織作りの道筋を年明けに出し、5・6月をめどに立ち上げ動き出したいと言ったが、今後の考え方、進め方は。

答 組みみとして、インフォメーションセンターの運営とは別に着地型観光などの旅行商品の提供ができる、観光業務機能を強化した部門を検討していただいております、具体的な事業展開は令和6年度に入ってから。

供ができてない事から、新年度、振興公社の取



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

受け入れ 体制作りの考えは

答 対応が必要であろうと考える

問 八十里峠の開通に伴い交通量の増加、人の流れの増が見込まれる、町内のトイレ施設の新設等の考え方と進め方は。

答 現状、国道沿いのトイレが少ないと考えられ、交通量の増加により、トイレ不足となる可能性がある。対応が必要と考えられるので、まずは朝日地区、明和地区への

問 トイレの新設場所選定を含めて検討していきたい。

答 春から開始される観光商品、ジャパンエコトラック全国37のエリア・ルート参加を示され、これから場所選定の検討をしていく。そんなことでは遅すぎるのではないのか。早急な対応が必要とされる時ではないか。

答 令和6年度中にはトイレの場所選定をし、その後急ぎ進めていきたい。

問 観光地で、なくてはならないトイレ、今後の観光推進に向かっていって欲しい。

答 意見を受け止め行動に移していきたい。

問 振興公社に観光業務を委託する事になるが、「お金も出すけど、口もだす」ではなく。町の観光はすべて託すというような考えでおられるのか。

答 振興計画に基づきやっていただき、町としては託したいと考える。



トレッキング、カヤック、自転車といった人力による手段で土地の魅力や自然を五感で味わいながら旅をする。

衰退する町内経済の現状認識と、解決策は



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

答 アンケート結果に基づき、
具体的制度創設に

問

高齢化、後継者不足、物価高騰等の影響により、町内の企業や商店の廃業が増加している。衰退する町内経済の現状をどのように捉えているか、今後の対策はあるか。

答

商工会と連携したアンケート調査では、「後継者は決まっていない」と回答した事業者は57%となり、深刻な状況と捉えている。今後、アンケート結果に基づき、具体的な制度創設等の仕組みづくりを検討する。

問

廃業して空き家となった事業所の事務所や店舗を、事業継承希望者に提供するシステム作りはできないか。

答

他には取組んでいる自治体や、登録サイトもある。今後、研究して検討する。

問

浅雪の影響で除雪関連業者の売り上げが落ちている。対応策はあるか。

答

排雪作業を早め、債務負担行為により、町工事の入札を予定している。建設業以外の関連事業者に対してはプレミアム

問

商品券により、町内消費の底支えをしていく。年金生活者が作った作物などで副収入を得られる仕組みづくりはできないか。

答

振興公社と相談しながら、取り組みたい。

第三セクターの再編が進まない理由はなにか

答 湯ら里、振興公社の経営改善を優先

問

第三セクターの再編が計画より遅れている。遅れの理由と今後の見通しは

答

着地型観光の機能を進めるため、組織の構築を図り、まずは2社の経営改善に取り組みたい。

問

振興公社、湯ら里ともに継続して求人広告を載せている。人材確保はできるのか。

答

インターネットや求人広告で人材確保に努めている。

問

振興公社の旅行業登録は現在どのような形で進んでいるか。

答

必要な資格なので、社内検討し、取り組んで行く。



行財政改革に 企業経営思考を

答 理念・戦略を持ち、踏むときにアクセルを踏む

問 職員の平均的なプレゼンテーション（説明する）能力の評価は。

答 平均的な評価はしていない。プレゼンテーションは才能ではなく、感情・気持ちが大切である。日々研鑽を積み、伝える能力を高めていく。

問 戦略と戦術の違いとは。

答 戦略とは進むべき方向や目標を示すことであり、戦術とは目標を実現するための具体的な手段や手法である。

問 戦略を持って行政執行できてくるか。

答 長期的な目標として振興計画。中期的に総合戦略。個別に高齢者福祉・介護計画等。それぞれ計画を策定し目標をもって行政執行にあたっては、個別事業における目標や方向性を示すこと、目標を実現するための具体的な手段や方法を明確にすることに更なる課題がある。

問 今の只見町役場の弱点はなにか。

答 広い知識を習得することが求められる半面、戸籍や福祉、土木建築やICT等、専門的な知識も必要であるが、その習得に課題があると捉えている。ICTなど部門によっては県からの支援や広域での配置なども検討していかねばならない。

問 目指すべき意図形成のあり方は。

答 それぞれの立場から議論を尽くすことが最も大切であり、その上で町政発展のために、ともに歩みを進めていかなければならないと考えている。

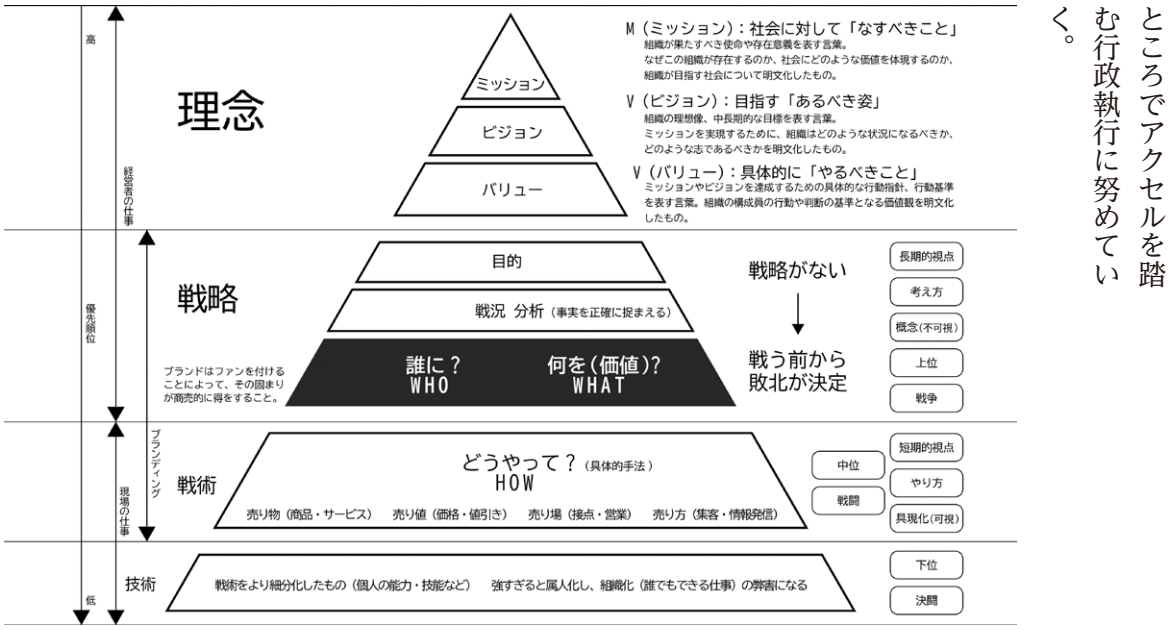
問 当局と議会は両輪なのか、アクセルとブレーキなのか。

答 当局は実行するアクセル、議会はチェック機能としてのブレーキ。その両輪である。

問 この4年間、チェック機能であるブレーキを踏みたかったが、踏んだ覚えがない。あの時の渡部勇夫のアクセルはどこにいったと懐かしむのは寂しい。エールを送る形になるがアクセルをしっかりと踏んでいただきたい。

問 エック機能であるブレーキを踏みたかったが、踏んだ覚えがない。あの時の渡部勇夫のアクセルはどこにいったと懐かしむのは寂しい。エールを送る形になるがアクセルをしっかりと踏んでいただきたい。

答 理念・戦略を持ち、職員に理解してもらおう。踏むべきところでアクセルを踏む行政執行に努めていく。



打ち手ありきにならず、誰に何の価値を提供するのが重要



菅 家 忠 議員

マイナ保険証への 対応を求める

答 保険証に代わる資格確認書を発行する



やま ぎし くに お
山岸国夫 議員

問

政府は12月に健康保険証の新規

発行停止とマイナンバーカードとの一本化を行うことを表明した。しかしマイナンバーカードで保険資格を確認する「利用率」が昨年4月の6・3%から12月は4・29%8カ月連続で減少したことが、厚生労働省が公表した資料で判明した。
マイナンバーカード取得は「任意」であり、健康保険証を廃止するというのは政府の方針そのものに矛盾がある。

只見町のマイナンバーカードの交付枚数は1月31日現在の人口に対し2月8日時点の取得者数比率は70・1%であり取得していない町民は1141人となっている。

町民の命に係わる問題として、町長は、国に対し健康保険証存続を求めるべきであるが見解を問う。

答

医療機関を安心して受診できる

という環境は、町民の命に係わる問題と認識している。国は、マイナンバー健康保険証の利用促進を図っていること、マイナンバーを取得されていない方に対しては、資格確認書で保険診療を受けられることができるという両建てで考えている。現在のところ国の考えに沿って取り組みをしている。

問

従来の保険証に代わり資格確認書の発行はどのようになるのか。

答

国民健康保険証は8月から一年間の有効期限となる。保険証の発行終了までにマイナ保険証を所有しない方には、申請によらずに従来の保険証に代わる資格確認書を交付する。受診の際はこの資格確認書を医療

機関等に提示することで、保険診療が可能となる。

問

朝日診療所の受付での昨年4月と12月のマイナ保険証利用率と4月以降直近までのトラブルの有無は。

答

4月が11・6%、12月が8・3%となっている。トラブルは3件ほどであった。



診療受付で保険証提示

人口減少の激しい 現状の認識は

答 深刻な状況であると認識している

問

人口の動態を分析すると、特に幼少年齢と生産年齢人口の減少が激しく、只見町は現状の社会機能を維持できなくなるのではないかと、更には自治体として存亡の危機を迎えつつあるのではないかと。この現状について町長の認識を問う。

答

これまで、町の総人口が減少する中において、比率としても高齢化率が高まる一方、生産年齢人口比率と年少人口比率は減少を続けてきた。これらの状況は只見町だけの問題ではなく、2011年以降日本の総人口は減少を続けて

おり、2020年と2023年の都道府県別総人口比でも増加しているのは東京都と沖縄県であり、福島県は減少率が6番目に高い状況となっている。

こうした現状について、大変厳しい状況にあり、集落の維持や様々な業種での人員不足、後継者不足は深刻な状況であると認識している。



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員

子育て政策の 具体的な強化策は

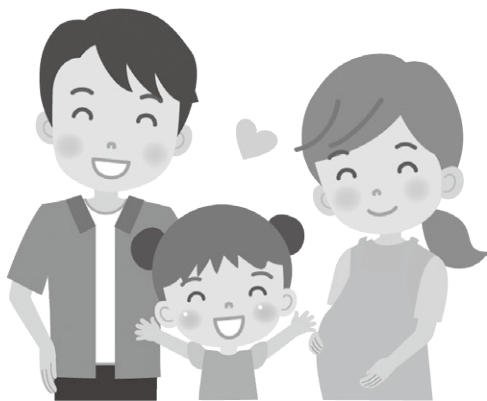
答 婚姻に対する支援を考えている

問

子育て政策は出生があつて機能するもの、また、幼少年齢は生産年齢人口へと推移していくことは言うまでもない。出生数と生産年齢人口の回復について、具体的な強化策は

答

未婚化、晩婚化の進行を背景に少子化対策の一環として婚活を支援する動きも広まっており、福島県においても「ふくしま結婚・子育て応援センター」を設置している。町としても出生数や生産年齢人口の減少速度を遅らせていくため、関係機関と連携しながら婚姻に対する支援を行っていきたいと考えている。



只見駅前広場について

答 多目的な集合施設の整備を検討する



なかのたかのり 議員
中野大徳

問

只見駅前広場においては駅前片舎を残し、旧只見中学校を改装した町下庁舎に二分されたまま現在に至っている。町民に限らず外部からの来訪者にも不便を与えているが、只見線全線開通に合わせて開業されたインフォメーションセンターや、テナント、民間の業者により賑わいを創出している。遺跡調査も終了した事で駅前広場が更に活性化していくと思われる。新年度予算において、

只見駅前複合施設の設計を提案されたがその中身について現在町長の考えは。

答

建物に必要なコンセプトはこれまでの計画されたものと大きく違うものではない。これに加えて、乳幼児を安心して遊ばせられる施設や若い親同士が集える場所の整備、また、コンビニやドラックストア機能などのニーズも多い事を踏まえ、多目的な複合施設の整備を検討する。今回の予算は建物のコンセプトや機能、大きさやエリア内での配置などをより具体化していくための基本設計と実施設計を行うためのものであり、しっかりと進めていく。

小学校の統合について

答 小学校の在り方検討懇談会に諮問する

現在の状況と考へについて伺う。今後の少子化を見据え、在り方を検討すべきとの意見をいただいている。次世代の地域を担う児童に本当に必要な教育環境とは何かを念頭に令和6年度に小学校の在り方検討懇談会を設置して検討していく。

問

現在小学校については、多方面から

答

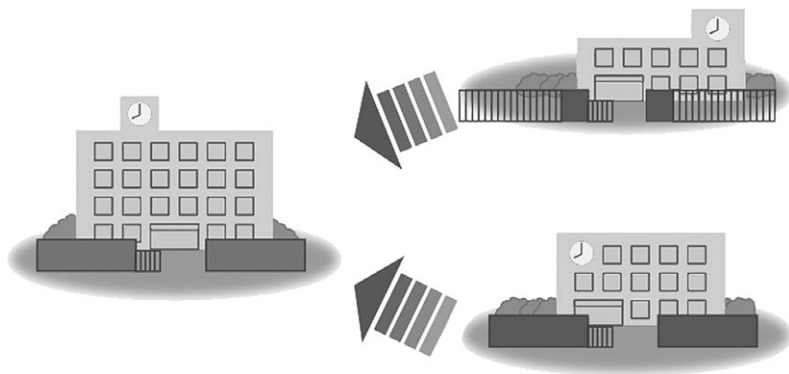
今後の少子化を見据え、在り方を検討すべきとの意見をいただいている。次世代の地域を担う児童に本当に必要な教育環境とは何かを念頭に令和6年度に小学校の在り方検討懇談会を設置して検討していく。

問

小学校の在り方検討懇談会よりも統合に向けた準備委員会を進める考えは。

答

地域の方々現状把握、これからのことを共有し、小学校の在り方を検討いただく懇談会が先である。そこから提言を受



関係人口など 受け入れ対策に 怠りは無いか

答 施設や経営環境を整える
方向で対策を講ずる

安心して暮らせる
まちづくり

問 診療所の医療人
材の確保と福祉
の里再整備の考えは。

答 医師、看護師な
ど目標に達して
いないが県及び県立医

科大学、看護師協会等
へ派遣要望中。福祉の

里の再整備は今後検討
していく。

問 高齢者の一人暮
らしが増加して
いる利用しやすい集合
住宅の整備は必要ない

か。また、集落に対す
る地域包括ケアシステ
ムの支援について

答 福祉センターの
居住棟が比較的
安く利用頂いており、
医療・介護・福祉の在
り方検討会で必要な施
設など検討していく。

また、現在地域包括セ
ンターによる集落サロ
ンの支援や介護予防事
業など、地域で活躍し
て頂く取り組みをして
いる。

問 観光交流人口受
け入れ対策とし
て必要な宿泊、飲食施
設は年々減少、対策に
怠りは無いか。交流促
進センターの利用実績
と今後の施設整備につ
いて問う。

答 受け入れ収容人
員の少ない町と
痛感しており旅客の地

域内滞在をいかに伸ば
すかが課題である。交
流促進センターの利用
率は回復基調である
が、一部屋当たりの売
り上げが少なく厳しい
状況が続くと見込まれ
る。

問 客室の絶対数が
少なく公益・収
益の分析が足りない、
今後の施設整備の優先
順位は。

答 議会特別委員会
調査報告を頂
き、湯ら里の改修計画
を検討してきたが、根
幹となる会社の経営改
善に注力し、現在に至
っている。

問 湯ら里の経営改
善は会社が自ら
行うべきで、町の役割
は枯渇寸前の源泉を改
修するなど、収益施設
の整備を行い経営基盤
の安定化を図ることと
考えるが町長の見解を
問う。

答 経営改善は現場
で行うもの、町
の役割は簡単にいえば
稼げる環境づくりとい
う指摘のとおり。町は
オーナーとして本来の
施設整備・環境を整え
るという方向で努力し
たい。



さいとう くに お 齋藤 邦夫 議員



只見町って
なじよだや？

只見のいっしょに・気になるいっしょ



只見中学校
1年 馬場 慈

僕が思う只見のいいところは、近所の人が優しくしてくれるところです。

僕があいさつをすると、みんな笑顔であいさつを返してくれます。反対に、只見の気になるところは、高齢者にとっては優しい町かもしれないけれど、僕や同年代の子どもたちにとっては、何かが足りないように感じます。特に、観光の面では、町の発展にはまだ遠く感じて

ひとこと

優しく、笑顔の町づくりもおもてなしとして重要だね。



只見中学校
1年 目黒 美結

私が考える只見町の未来は、人口が多くて、働く場所があって、子どもたちがたくさんいる町です。只見町は今、少子高

只見町の未来

齢化が進み、年々人口が減ってきています。このままでは、働く場所もどんどん無くなり、只見町から子どもや若い人がいなくなってしまう。

朝日小学校は昨年、創立百五十周年を迎えましたが、このままでは朝日小学校の歴史が途絶えてしまうかもしれません。朝日小学校を未来までずっと残していくにはどう

ひとこと

どのように歴史を伝える残すかが重要。そして課題になるね。



編集後記

卒業・入学式と春の訪れを感じる季節となりました。

今年は、降雪も少なく家庭の除排雪負担が少ない一方、道路除雪関連事業等には経済的に影響を与えました。気候も2月と3月が逆転した降雪があり、今後これらの異常気象による農産物への被害が危惧されます。

議会だよりの編集にあたっては、視察・研修の内容を生かして、分かりやすい議会だより編集に努力してまいりました。今回の議会だよりが現在の広報広聴常任委員会最後の発行となります。

(山岸国夫委員)

発行責任者

議長 大塚純一郎

広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 矢沢 明伸

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp